

平成27年度 可茂特別支援学校 第1回 学校評議員会記録

日時 2015/5/25(月) 9:30~11:30

場所 可茂特別支援学校 会議室

司会 教頭 / 記録 教務主任

出席者 学校評議員 板津幹彦 東和組立株式会社代表取締役
(五十音順) 小川たか子 中山道発展会理事・美濃加茂市商工会女性会理事
加木屋郁雄 下米田地区自治会長・牧野地区区長
前田直子 可児市こども発達支援センターくれよん所長
渡辺俊幸 美濃加茂市文化団体連盟参与
学 校 鈴木隆司 校長、永田長文 PTA会長、若井賢二 事務長、長野武郎 教頭、
高橋泰行 小学部主事、石原和寿 中学部主事、浅野忠一郎 高等部主事、
大竹陽平 教務主任

1 自己紹介

2 学校評議員の委嘱

3 議題

(1) 本校の概要説明

ア 平成27年度概要について 教頭

イ 作業製品の価格設定について 高等部主事

(2) 授業参観 ショートいのちを守る訓練参観

高等部作業学習中心にご案内

(3) ご意見

意見1：製品仕上がりまでの工程に工夫が見られ、もっと地域に広げていけると良い。

意見2：どの作業班の製品も素晴らしいものであり、牧野の文化祭など、どんどん外で販売して欲しい。

意見3：5年たった学校になったと感じた。コサージュなどの販売も多くできると良い。

牧野の方に知ってもらえるような働きかけ、販売が積極的にできると良い。

意見4：教員の指導がきめ細かく、子どもたちが生き生きとしている。学校全体に清潔感を感じる。

(質疑) 教室不足への対応、職員の発想を広げるための研修は十分か。

→学校：自閉症傾向児、外国籍児が多く、分教室的な必要性も感じる。東濃特別支援学校も総合化される予定である。専門性については、共同学習で高等学校との連携も図っている。

意見5：地域の施設間連携、企業間連携など、組織的な連携を積極的に進めて欲しい。

意見6：学校が仲立ちとなり施設間連携、企業間連携が進められ始めていると感じる。

課題を共有することで、採用や定着率を高められると良い。企業への理解を図り、より多くの一般企業採用を期待したい。また、もっと学校や生徒のアピールをしても良いと思う。

意見7：昨年、事業所内作業学習の見学をさせていただいたが学ぶべきものが多かった。読書指導への取組では市の図書館と連携をすることで、図書選択の幅を広げることができると考える。

意見8：地域の方のボランティアを講師として活用すると良い。

意見9：支援学校だからの価格でなく、質の向上を図り、価値を高めていけると良い。

各作業班が連携したコラボ製品の販売などで、製品の価値を高めることもできる。

母の日などに花の販売を積極的に行うなど、時期に合わせた製品作りに計画的に取り組めると良い。

4 まとめ

委員の皆様からは、作業学習をはじめ学習活動について、一応の評価をいただくことができています。しかしながら、地域への発信、専門性の向上、作業製品の品質向上、より積極的な製品販売の実施等の課題について貴重なご意見もいただくことができた。

今後、地域の中の特別支援学校として、センター的機能としての役割を果たしながら、質の高い製品販売はもちろん、専門性の向上へ向けた地域ボランティアの活用など様々な形で積極的な連携を進めていきたい。